

Rotary International District2780

GOVERNOR'S

Monthly Letter

奉仕しよう
みんなの人生を
豊かにするために



SERVE TO CHANGE LIVES

2021

12月号

Vol.6

2021-2022

ガバナー月信



国際ロータリー 第2780地区 2021-2022年度ガバナー 田島 透
Rotary International District2780 2021-2022 Governor Toru Tajima



クラブ会長・幹事の皆様、 そしてクラブ会員の皆様へ



国際ロータリー第2780地区
2021～22年度ガバナー

田島 透

ロータリアンの皆様、早いもので今年も最後の月となりました。師走と聞くと何かとせわしくなくなります。

10月に緊急事態宣言が解除され、10月24日の世界ポリオデーIN2780を、実行委員会をはじめ多くの皆様の協力のおかげで開催することができました。ラッピングバス、バスの中刷り広告、ポリオ根絶コロナ終息祈願祭、ポリオ根絶キャンペーン、そして世界ポリオ根絶サミットを開催することができましたこと心から感謝する次第です。

全国的に新型コロナウイルス新規感染者数は非常に低い水準となってきました。飲食・大きな集会・人の移動など社会活動もできるようになりました。クラブも地区も通常の活動を取り戻しつつあります。対面で会えることの喜び、大切さを実感しています。今後も感染防止対策を十分に考慮して活動をしていただきたいと思います。

今年の公式訪問は12月23日が最後になりました。11月22日の自クラブが最後の公式訪問の予定でしたが緊急事態宣言下で数クラブが移動してくださいました。公式訪問は3クラブを残すのみとなっています。

公式訪問ではガバナー補佐、会長幹事さんをはじめ会員の皆様の温かい歓迎をいただき、大変有意義な訪問をさせていただいています。

また、オンラインで公式訪問したクラブへは再度クラ

ブ訪問させていただいております。直接皆様とお会いすることを目的に訪問をお願いしています(公式訪問ではございません)。ご協力よろしくお祈いします。

「環境の保全」

これまでのロータリーの6つの重点分野「平和と紛争予防・解決」「疾病予防と治療」「水と衛生」「母子の健康」「基礎教育と識字率向上」「経済開発と地域開発」に加え、新たに「環境の保全」が追加されました。

現代の私たちの生活や経済・社会システムは、安定的で豊かな環境の基盤の上に成立しています。しかしながら人間活動の増大は、地球環境へ大きな負荷をかけており、気候変動問題や海洋プラスチックごみ汚染、生物多様性の損失などの様々な形で地球環境の危機をもたらしています。これらの環境問題はグローバルな課題であると同時に、私たちの生活とも密接に関係するローカルな課題でもあります。

ロータリー地球環境保全プロジェクト

2021年9月12日、国際ロータリー第2820地区(新井和雄ガバナー)の呼びかけに、世界各地のロータリークラブが呼応し、それぞれの国・地区で市民と共に、海岸や河川や湖沼を綺麗にするプロジェクトを行っています。現在、世界各国から245団体・3万人を超える参加者が、海岸・河川・湖沼の清掃を行い、直接的に地球環境を改善する効果をあげています。

CONTENTS

ガバナーメッセージ	2
月間テーマについて	4
世界ポリオデー特集	5
ポリオ根絶・コロナ鎮静化祈願祭	8
クラブ紹介 第8グループ	11

クラブ紹介 第9グループ	14
地区米山委員会より	18
茅ヶ崎RC戦略計画について	20
ロータリーの創生	22
GROW MORE MEMBERSHIP、新会員紹介 他	23

ガバナーメッセージ

新井ガバナーはこのプロジェクトの目標はもっと先にあると話されています。ゴミを拾った一人ひとりが「なぜ、このゴミはここに来てしまったのか」、それぞれに考えてもらい、少しでも地球環境問題に意識を傾けていただき、日常生活の行動に小さな変化をもたらすことです。その一人ひとりの行動変容は地球環境保全へ貢献する効果があるものと信じています。

グローバルで行動するロータリーはポリオ根絶への貢献が示すように、地球全体を見渡しながら人間の安全保障に取り組んでいます。そして、時に経営と環境問題の拮抗関係が取りざたされますが、会員の多くが経営者であるロータリーは、7つ目の重点分野に環境を採択し活動を始めました。これは、社会のリーダーたちが環境問題に正面から取り組まなければ、持続可能な社会経済の発展は不可能なこと、そしてロータリアンが最も力を発揮できる分野であることを示しているのだと思います。

COP26

時を同じくして11月に英国で国連気候変動枠組み条約第26回締約国会議(COP26)が開催されました。

地球規模で平均気温が上昇し続けています。また、これまで経験したことのないような豪雨や嵐による災害、異常気象による農作物への被害が発生しています。人間社会が排出してきた温室効果ガスが気候変動を誘引し、世界各地で10年に1度、あるいは50年に1度といわれる大災害が毎年のように発生するようになりました。

気候変動は、干ばつや豪雨など自然災害の頻発化や激甚化、食糧供給へのリスク増など、世界中のすべての人々の暮らしをおびやかす喫緊の課題です。なかでも途上国では、脆弱なインフラや気候変動対策の遅れなどから、まさしく人々の命が危険にさらされています。洪水や水不足は、その流域での紛争の火種となりかねません。

こうした中、2015年に世界中のリーダーたちがフランスのパリで気候変動対策に取り組むための歴史的な合意をしました。これがパリ協定です。合意された内容は、「世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて2度より十分低く保つとともに、1.5度に抑える努力を追求する」ことです。そして2050年カーボンゼロです。

「2030」はミライへの分岐点

1.5°C目標を目指すためには2050年までに世界の二酸化炭素排出量を実質ゼロ(ネットゼロ、あるいはカーボンニュートラルとほぼ同義)にし、2030年までに2010年比で約45%削減することが必要と言われています。

すでに1°C以上気温が上昇してしまっている現状からこの目標を達成するには、社会システム変革を含めた大胆な対応を要されています。今回の目標確認はようやくスタート地点に立ったところだと言われています。

会場の外では、多くの市民や若者が集まりデモ行進が行われました。交渉の中でもこのような若者たちの声に言及し、本会合で1.5°Cが目標とされなければ、子供や孫たちの世代に対して取り返しがつかないことになるという発言が多く聞かれています。今まで以上に将来世代への配慮を求められたCOPとなりました。

私たちは日常生活で1度上がってもピンときません

もっと敏感であることだと感じました

このまま温暖化が進んだらどうなるのでしょうか

今の子どもたちが暮らす30年後の2050年頃の環境はどうなっているのでしょうか?

ロータリーは未来に向かって行動する、持続可能な良い変化を起こすために行動する団体です

私たちは地球のミライを次世代に託すために、今何ができるのでしょうか?

「何をしたらよいかわからない・・・何ができるか一緒に考えませんか」

COP26ではいろいろなことを考えさせられました

まずは10年後(2030年)の変化に対応できるように行動する

温暖化で「2030」はミライへの分岐点

ロータリーは未来形成へ向けてのスタート

アインシュタインは

「悪い行いをするものが世界を滅ぼすのではない

それを見ていながら何もしない者たちが滅ぼすのだ」

と言っています

疾病予防と治療月間



国際ロータリー第2780地区
2021～22年度ガバナーノミネー

田島 敏久
(相模原西RC)

疾病予防について触れます。

現在、世界中に政治混乱と経済不況をもたらしている感染症COVID-19を中心に述べたいと思います。まずはPANDEMICの歴史を見ますと、ペストと天然痘は避けられない疾患であります。ペストはネズミ由来のペスト菌より発症流行を繰り返してきましたが、今回はVIRUS感染症であります天然痘について、述べます。人類が撲滅した唯一のVIRUS感染症であります。

紀元前・エジプトのミイラに天然痘の痕跡が報告されています。日本でも奈良時代：天平の疫病大流行と呼ばれ、当時国政を司っていた藤原4兄弟を含む100万人以上が死亡しました。1700年代後半、イギリス人GENNERが種痘法を開発し、1980年にWHOは天然痘撲滅宣言しました。

20世紀になって、何度もPANDEMICがありました。最も有名なのが、SPAIN風邪：インフルエンザVIRUS・H1N1型の流行で、1918～1921に渡り3回の大きな発生を起こして、5,000万人の死亡数を超えた。1957年アジア風邪：インフルエンザ【H2N2】110万人死亡、1963年香港風邪：インフルエンザ【H3N2】100万人死亡、2009年新型インフルエンザ【H1N1】58万人死亡。CORONAVIRUSでは2003年SARS【SARS-CoV】1,700人死亡、2012年MERS【MERS-CoV】900人死亡、2019年～2021年新型CORONAVIRUS感染症【SARS-CoV-2】110万人以上死亡。以上、20世紀以後のPANDEMIC例を述べましたが、2003年SARSの死亡率は9～16%、2012年MERSの死亡率は30～40%と異常に高かった。因みに、COVID-19の死亡率は3%程度でした。

2018年アメリカ JOHNS HOPKINS 大学 PROFESSOR ADARIA先生groupはコウモリ由来の病原体：RNA VIRUS呼吸器感染症が起こると指摘していました。その病気の特徴は「感染力が強く、感染しても2～3日無症状から症状が出る。その間に他の人に病気をうつすという厄介な病原体であります。しかし、軽症が多く、致死率が高くないRNA VIRUSでありました。」従いましてCLUSTERという言葉が一般化しました。

CORONAVIRUSはRNA VIRUSより作られています。人の細胞は2本鎖のDNA遺伝子を持ち、「2重らせん構造」をしています。DNA遺伝子の場合は2本の鎖が互いのdataを補完し合うため、仮に何処か一部が壊れても反対側のDNA鎖で元道り修復することができます。従いまして、2重らせん構造のDNA遺伝子を持つ生物は、なかなか突然変異を起こしません。一方、1本鎖のRNA遺伝子はBACKUPの役割を果たす対の鎖がないために、一度壊れると元通りに修復することが出来ません。RNA遺伝子が突然変異を起こしやすいことを意味しています。RNA遺伝子を持つVIRUSは変異を繰り返しながら多様性を拡大する事により、生存のCHANCEを拡げています。今回の新型CORONAVIRUS感染拡大するのはこの為であります。

さて、最後にCOVID-19のON SETとその原因をまとめ、今後の第6波対策を考えましょう。2019年11月中国・武漢市で原因不明のVIRUS性肺炎が発生。武漢市にはFRANCEの協力によりVIRUS研究所があるのが有名であります。12月31日武漢市で原因不明のVIRUS性肺炎が発生、WHOに報告。

2020年1月7日、新型CORONAVIRUS【SARS-CoV-2】と判明しました。1月23日武漢市都市封鎖、1月28日、日本政府・指定感染症とする。3月24日東京OLYMPIC・PARALYMPIC1年延期決定された。7月29日・1日当たり感染者数1,000人超える。2021年1月20日米国の死亡数：40万人以上、日本の死亡数は5,000人以上となる。2月17日より、日本国内でVACCINE接種開始。

感染症によるPANDEMICは環境破壊によると言われています。

- ①高いRISKを伴った野生動物の取引
- ②森林破壊
- ③非持続可能な形での農業と畜産の拡大

我々はロータリー奉仕活動に於いて環境破壊対策を推進しましょう。第6波予防に立ち向かっていきましょう。



世界ポリオデー in2780 サミット開催

**END
POLIO
NOW**

国際ロータリー第2780地区では、今年度10月24日の世界ポリオデーに田島透ガバナー主導の下「世界ポリオ根絶サミット in D2780」が開催されました。

世界ポリオデーは医療・保健の専門家とユニセフ等のパートナー団体がポリオ根絶活動の現状を世界に周知させ、理解を深めてもらうために定められた日です。

この日は世界各地で様々な活動が行われます。当第2780地区では多様なメディアを通じて地区内外のロータリアン、そして地域の人々にポリオ根絶活動をより良く知り理解してもらうために企画され、この度のサミット開催実現に至りました。



田島ガバナー



サミット集合写真



サミット会場



バス中吊り広告



ラッピングバス



佐藤エレクト・田島ノミニ

世界ポリオ根絶サミット in D2780 < 次 第 >

2021年10月24日(日) / アイクロス湘南6階

12:00	開 場	
12:30-12:40	開会セレモニー	司 会 田中 賢三
	挨拶	実行委員長 大谷 新一郎
	世界ポリオ根絶サミット in D2780 開会宣言	特別アドバイザー 相澤 光春
12:40-13:00	基調講演「RI・TRFのポリオへの取組」	財団管理委員・IPPC委員 三木 明
13:00-13:20	基調講演「感染症とiParkの役割」	湘南ヘルスイノベーションパーク 藤本 利夫
13:30-16:15	サミット開幕	進 行 相澤 光春
	「地区が取り組んだインドでの活動」	第2780地区ガバナー 田島 透
	ポリオ根絶の経緯・現在・未来について	
	「インドにおけるこれまでのポリオワクチン接種活動」	Lokesh Gupta
	「ポリオ病棟の設置と患者の社会復帰への取組み」	Dr.Mathew Varghese
	「インドをポリオ根絶に導いた道程とロータリーのサポート」	Raman Bhatia
	総評および未来へのメッセージ	PP日本担当アドボカシー アドバイザー 小沢 一彦
16:15	閉会宣言	特別アドバイザー 相澤 光春
16:50-17:45	キャンペーン報告	1G~9G ガバナー補佐
18:30	エンドポリオナイト	



司会 田中 賢三氏 大谷 新一郎実行委員長 相澤 光春特別アドバイザー

開会挨拶で大谷実行委員長から「2014年、当時の相澤ガバナーがポリオ根絶行動チームの団長となり、7年連続でインドへ視察及びポリオワクチンの接種を行ってきたこと、その集大成として今年度田島ガバナーが地区目標の柱をポリオ根絶と位置づけ、本サミット開催をはじめ様々な活動を行っている」等の主旨説明がありました。

開会宣言は相澤光春特別アドバイザー、司会は田中賢三氏。

世界ポリオデー特集

< 基調講演 >



三木 明氏

藤本 利夫氏

サミット開催前にオンラインで二つの基調講演が行われ、前半は国際ロータリー財団管理委員・IPPC(国際ナショナルポリオプラス)委員の三木明氏による「ロータリー財団のポリオへの取り組み」について。水と衛生、子どもの教育支援、疾病との闘い、母子の健康等、世界のロータリーによる人道的プロジェクトを紹介され、またポリオ根絶の重要性をお話いただきました。そして実現が近いポリオ根絶への更なる理解と支援を訴えました。

後半の基調講演は、医師で湘南ヘルスイノベーションパーク・ゼネラルマネージャーの藤本利夫氏が「感染症とiParkの役割」と題し、製薬専門家の視点でポリオや新型コロナウイルスなどの感染症と医薬品の開発についてお話されました。世界の医薬品開発と日本の医薬品メーカーの開発、その体制や課題等をわかりやすく解説していただきました。

< サミット >

続いてサミットは、相澤特別アドバイザーの進行で行われ、こちらもオンラインでインドリアルタイムで繋ぎ、3人の出席者からインドのワクチン接種とポリオ根絶に導いた経緯、患者の社会復帰の現状等、そしてロータリーが果たしてきた役割が報告されました。

はじめに田島ガバナーから当地区のポリオ根絶活動について説明がありました。

2013-14相澤ガバナー年度より現在まで募金活動を続けてきたこと、また今年度はラッピングバス広告やバス中吊り広告等のメディアミックス広報活動、地区内各グループで行われたポリオ・コロナ根絶祈願祭を紹介。そしてインドでの活動について現地写真を使用し詳しく解説されました。

インドからの出席者の一人目はロケシュ・グプタ氏。グプタ氏はデリー南西ロータリークラブ所属。2019-20年度第3011地区ポリオプラス委員長、そして現在はロータリー技能・識字センター委員長です。インドにおけるポリオワクチン接種他、様々な活動についてお話されました。

二人目はマシュー・バルギーズ氏。マシュー氏はポリオ専用病棟がある聖ステファン病院元院長で幼少時にポリオに感染した患者の外科手術を施しています。現在は、WHOと連携し医療活動に従事されています。ポリオ感染でハンディキャップを背負った患者への施術と、彼らの社会復帰支援の現況を説明されました。

三人目ラーマン・パティア氏はデリーミッドタウンロータリークラブ所属で3011地区パストガバナーです。48年のロータリー歴の内大半をポリオ根絶に費やして来られたとの事。インドがポリオ根絶に至った道筋とロータリーの行ってきたサポートについてお話をされました。3氏は一様に当地区への感謝の意を示されました。

質疑応答では、代表して神谷一博ポリオプラス委員長、當間安弘地区公共イメージ委員長、岩澤あゆみ地区会員増強維持拡大委員長、そして田島敏久ガバナーノミニーがそれぞれ登壇、質問を致しました。



田島ガバナー活動解説



ロケシュ・グプタ氏



マシュー・バルギーズ医師



ラーマン・パティアPG



小沢一彦氏



神谷ポリオプラス委員長



當間地区公共イメージ委員長



岩澤地区会員増強維持拡大委員長



田島ガバナーノミニー

最後にロータリー財団管理委員を4年、国際ナショナルポリオプラス委員を7年務められた小沢一彦氏から「総評及び未来へのメッセージ」のお言葉をいただき会議は終了。

その後9グループの各ガバナー補佐達からそれぞれのグループにおけるポリオ根絶キャンペーンについて動画を使用した報告がありました。



苗村AG

冨住AG



常磐AG



大屋AG



鳥山AG

木村AG

サミット終了後はポリオナイトが行われ、関係したロータリアンと通訳を務めてくれたローテックスが参加し、お互いに労をねぎらい、長い一日は達成感と充実感の内に全て終了しました。

TOGETHER, WE

END POLIO

Rotary PEOPLE IN ACTION



ポリオナイト後集合写真

世界ポリオデーin2780の意義

世界ポリオデー実行委員会
委員長 大谷 新一郎 (相模原南RC)

10月24日に行われた「世界ポリオデーin2780サミット」の三木様・藤本様の基調講演と、インドのグプタ氏を始め3名の方のインドにおけるポリオ根絶に携わってこられた経過等のお話を聞き、ポリオに関する知識をより多く得ることができたと思います。

日本ではポリオの発生がなくなっている中、再発・発生を防ぐため世界のあらゆる国でポリオワクチンの接種活動を行っている現状を再認識する大きな機会となりました。

今回のポリオデーに向けてのAGの力強い行動と各グループでのリーダーシップ、そしてサミットに向けて各委員会、ローテックスの協力等、地区の総力を挙げて田島ガバナーのポリオ根絶に対する熱い思いを実現できたのではないかと思います。

私は実行委員長として、2780地区の「底力」を強く感じました。

世界ポリオデーin2780の成功に導いた皆の努力

ポリオプラス委員会
委員長 神谷 一博 (湯河原RC)

「世界ポリオデーin2780」キャンペーンの締めくくりとして、10月24日「世界ポリオデー」当日10時から辻堂駅北口ベデストリアンデッキにて「エンドポリオ」啓蒙活動と募金活動を行いました。午後にはインドとのポリオ根絶ライブサミットが成功裡に終了。田島透ガバナー始め関係者一同素晴らしい笑顔と共に場所を「エンドポリオナイト」の会場に移動し、打ち上げを行いました。

8月からのバスジャックプログラム、ポリオ終息祈願祭、各地街頭でのエンドポリオキャンペーン等が、第1～第9グループのガバナー補佐さんの努力により盛大に実行できた事、そして今回のキャンペーンを世界に発信できた事、等を記録に残していきたいと思っております。

「エンドポリオナイト」の会場(プロント テラスモール湘南店)を快く提供していただきました、藤沢西ロータリークラブの芳川恵子様へ感謝いたします。

END POLIO NOW

世界ポリオデー in2780サミット 辻堂駅募金活動

2021年10月24日(日) / 辻堂駅



同日午前10～午後1時、JR辻堂駅コンコースで米山奨学生・学友たちによるポリオ根絶募金活動が行われました。皆の頑張りにより、たくさんの方に募金していただき、多額の支援金を集めることができました。



ポリオ根絶・コロナ鎮静化祈願祭

ポリオ根絶・コロナ鎮静化祈願祭
伊勢原大神宮

 第7グループ・ガバナー補佐 **大屋 富茂**
 (秦野名水RC)

「世界ポリオデー」に向けて田島ガバナーは4本の柱を掲げられました。その一つとしての「祈願祭」をグループの先陣を切って、第7グループでは10月3日(日)田島ガバナー、竹内パストガバナー、相澤特別アドバイザー、大谷実行委員長をはじめ地区役員、各クラブ会長幹事及び2名の米山奨学生の参加をいただき総勢24名にて伊勢原大神宮の神前において執り行わせていただきました。

台風一過の晴天に恵まれ、宮司の了解のもと境内を「ポリオ根絶」ののぼり旗で一色に染めさせていただき、参集殿にてセレモニーの後、拝殿に場所を移し、宮本宮司のもと祈願典儀が執行されガバナーをはじめ各クラブ会長の玉串奉奠と進み、邪気を払う巫女による「剣の舞」にて大神宮のご加護をお祈りさせていただきました。

境内では、七五三等でにぎわう参拝者の中で、「ポリオ根絶」の小旗を持つての記念撮影、その後場所を移し昼食の後、グループ幹事の進行により参加者全員の皆様からコメントをいただきました。中でも参加した米山奨学生より「日本の伝統文化にふれ、大変勉強になりました。」とのコメントが印象に残りました。

参加者一同「ポリオ根絶・コロナ鎮静化」を願い散会させていただきました。


ポリオ根絶・コロナ鎮静化祈願祭
平塚八幡宮

 第8グループ・ガバナー補佐 **鳥山 優子**
 (平塚RC)

今回の祈願祭は、10月24日に行われた世界ポリオデーin2780のキャンペーンの一環として、田島ガバナーのポリオ根絶に向けた熱い想いから計画されました。初の試みではありましたが、多くの方々から関心が寄せられた非常に有意義な活動となりました。

具体的には、平塚八幡宮にて、宮司による祝詞の読み上げ後、宮司からのお話を頂戴し、その後参集殿でポリオプラスのDVDを視聴しながら昼食をいただきました。

参加者には、イスラム圏からいらっしゃった米山奨学生もおり、「宗教は違うけれど、日本の文化として祈願祭を見たい」とのことで参加いただきました。また、コロナ対策の都合で参加できなかった会員からは「祈願祭に立ち会いたかった」との声が寄せられました。

多くの方に興味を持っていただいたことで、何としてもこの世からポリオを根絶しなければならないと改めて誓うきっかけとなったと思います。

ポリオが地球上からなくなるその日まで、私たちロータリアンはこれからも多くの方を巻き込んだ啓蒙活動を続けてまいります。



ポリオ根絶・コロナ鎮静化祈願祭



ポリオ根絶・コロナ鎮静化祈願祭

箱根神社

第9グループ・ガバナー補佐 木村 隆也
(小田原RC)

10月24日(日)の「世界ポリオ根絶サミットIN2780」に先立ち、10月9日(土)に箱根神社において「ポリオ根絶・コロナ鎮静化祈願祭」を開催させていただきました。

ロータリークラブが30年以上推進してきたポリオ根絶活動の成果により、世界での発生は中東のアフガニスタンとパキスタンの2カ国のみとなり、完全根絶に向けて祈願をさせていただきました。それと同時に新型コロナウイルス感染症に立ち向かう医療従事者への感謝の気持ちを込めて感染症の終息を祈りました。

当日は、晴天に恵まれ、荘厳の中、祈願祭が執り行われ、また、ローターアクトクラブ、米山奨学生にも参加いただき、次代を担う若い世代の方たちと一緒に活動ができることに対する喜びと感謝の念が湧いてきました。

さらには、緊急事態宣言が解除され、コロナ禍でずっと第9グループ全体としてできなかった活動が展開でき、各クラブが活気を取り戻し、実践的な奉仕活動に取り組むきっかけになったことと思います。

地区活動方針のひとつであります「DO MORE END POLIO(ポリオ根絶)」を何よりも第9グループが力を結束し、グループ全体として行動できたことは、少なからず地域社会にインパクトをもたらしたと信じます。



ポリオ根絶・コロナ鎮静化祈願祭

亀が池八幡宮

第5Bグループ・ガバナー補佐 取住 悦子
(相模原RC)

第5グループの「ポリオ根絶・コロナ鎮静化祈願祭」は、10月10日(日)14:00より亀が池八幡宮にてAB合同で行われました。11クラブの会長幹事を中心に、田島ガバナーを始め杉岡パストガバナー、佐藤ガバナーエレクト、神谷ポリオプラス委員長にご参加いただき約30名がポリオの根絶とコロナ感染症の終息を祈願しました。宮司の根岸様は相模原ロータリークラブの会員で、七五三の参拝客もいらっしやる中、たいへんお世話になりました。

地元の神社とはいえ中まで入ることはなかなかないので、社殿が新しく立派になっていて感銘を受けました。

一連の世界ポリオデーの行事の中で、ポリオ根絶の活動を続けていく意義を学びましたが、厳かな雰囲気の中で大勢の心をひとつにして世界からポリオをなくすという誓いを新たにできたことはよかったです。また、J:COMさんのニュースを始め複数のメディアに取り上げていただき、ポリオについて知らない方にも関心をもってもらえたかと思えます。



ポリオ根絶・コロナ鎮静化祈願祭

ポリオ根絶・コロナ鎮静化祈願祭
鈴鹿明神社

 第6グループ・ガバナー補佐 **常磐 重雄**
 (厚木RC)

去る10月22日、鈴鹿明神社において、第2780地区ポリオ根絶・コロナ沈静化祈願祭が開催された。かかる祈願祭に先立ち、第6グループは写真にある「エンドポリオ・エンドコロナ」の中吊り広告を神奈中バスに掲載するなど、ポリオのみならず、コロナの終息に向けてのPR活動をしてきた。

祈願祭当日はあいにくの雨模様であったが、田島ガバナーとガバナー補佐、第6グループ10クラブの会長幹事と第6グループ内の米山奨学生4名の合計26名が参加し、参集殿内において、厳粛な雰囲気の下、祈願祭が執り行われた。

宮司による祝詞に続き、玉串奉納、巫女による舞も披露され、米山奨学生にとっては日本文化を知る良い機会になったと同時に、コロナ禍で自粛していた他の奨学生との交流を図る機会にもなったものと思われる。

最後に、鈴鹿明神社の宮司は座間ロータリクラブのメンバーであり、今回の祈願祭に際し、多大なご協力を頂いたので、改めて厚く御礼を申し上げたい。


ポリオ根絶・コロナ鎮静化祈願祭
寒川神社

 第4グループ・ガバナー補佐 **三澤 京子**
 (寒川IRC)

世界ポリオデー当日の10月24日午前9時より、寒川神社において第4グループポリオ根絶・コロナ鎮静化祈願祭が斎行されました。当日は好天に恵まれ気持ちの良い青空の下、田島透ガバナー、田中賢三PGを始め、第4グループ内6クラブ(茅ヶ崎・寒川・綾瀬・茅ヶ崎湘南・茅ヶ崎中央・綾瀬春日)の会長他会員の皆様方総勢40名に加え、米山奨学生の羅 曼さんにも参列いただきました。

今回の祝詞は寒川IRC石腰会長エレクトに寒川神社権宮司としてお力添えをいただき、ポリオ根絶とコロナの鎮静化について一般の方にもわかりやすい言葉で奏上していただきました。荘厳な雰囲気の中、古来より言葉には魂が宿るといわれる所以を実感いたしました。

祝詞に加え舞もご披露いただいたあと、ガバナー事務所と6クラブに各クラブ名の入ったお札をいただき、神聖な気持ちでご祈祷を終えました。



クラブ紹介

第8グループ 平塚ロータリークラブ

会長 柏手 茂



自慢するということに些か照れくささを感じつつ、ここは一つ思い切って我がクラブを自慢し切ってみたいと思います。

真っ先に浮かんだのは、仲の良さです。例会時にも笑い声が絶えず、とにかくあちこちで会話の花が満開です。

例会以外でも、例えば「情報集会」という事業があります。会務委員会に関わらず、ランダムにグループ分けし、共通テーマについて議論し、グループリーダーが例会時に成果を発表するというものです。共通テーマを真面目に議論するのは勿論、経験豊富な会員が参加すれば、テーマ以外にも議論が深まるのは当然の帰結であり、著名な方の講演を二時間聴いたような満足感で帰路につくわけです。

もう一つはゴルフです。私はゴルフをしません、その仲の良さに驚かされます。

コロナ禍においては、その自慢の仲の良さをなかなか発揮できず、コロナ禍以前の日常が早く戻るよう願うばかりです。



第8グループ 大磯ロータリークラブ

会長 守屋 紀忠



大磯ロータリークラブは今期、創立55周年を迎えます。現在16名の小クラブですが、絆は強く、例会は何時も和気藹々です。

7月から例会場の大磯プリンスホテルはオリンピックの選手村となり、オリンピックが明けたらコロナの緊急事態宣言で9月末まで使用できず、オンライン例会を経験しました。宣言中、20年以上継続して来た「大磯宿場祭」や「大磯なぎさの祭典」でのロータリー広報活動、ポリオ根絶募金活動や大磯町海岸清掃奉仕など全て中止。宣言解除後10月9日第8グループの平塚八幡宮での「コロナ沈静化・ポリオ根絶祈願祭」、平塚駅前での「ポリオ根絶キャンペーン」参加が最初の奉仕活動となりました。

2019-20年度、地区補助金を得て実施したウガンダ共和国・ブタンバラ県に住むHIV罹患家族で10人以上の子供を抱えている10家族の為にトイレ10戸を、現地の福祉団体JEDOVCと東京のNPO法人コンフロンティアと協働で建設し、その後も交流が続いています、その第2弾の実施要請が現地から届き、現在前回と同様の体制を組んで申請/実施する事を計画中です。



クラブ紹介

第8グループ 平塚北ロータリークラブ

会長 相原 清



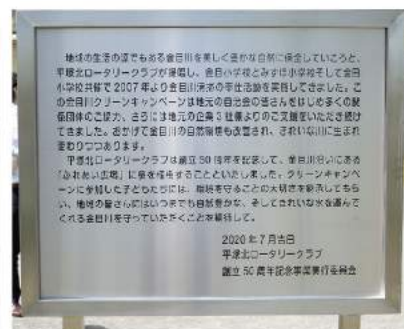
平塚北ロータリークラブは昨年、創立50周年を迎えました。今年6月にはコロナ禍のために小規模での開催となりましたが、当時の久保田英男ガバナーも来賓としてお迎えし、記念式典を執り行いました。

それに先立ち、長年の清掃活動を通じ、当クラブの奉仕活動の舞台となった金目川流域の公園に、8本の桜を記念植樹しました。当日は、あいにくの雨模様でしたが、ともに清掃活動に参加した地元小学校の生徒や先生、地域の方々をお招きし、楽しくイベントを行うことができました。

また、それと合わせ記念碑も建立し、先輩たちの50年間にわたるご努力に敬意を表し、未来に向かってクラブを発展させる決意を形にしました。

現在、会員数は37人。女性も6人います。自然にあふれ、歩くだけで心が晴れやかになる平塚市総合公園の中の「レストラン大原」を例会場とし、親睦とさらなる奉仕活動の実践に努めています。

平塚北ロータリークラブ創立50周年記念式典



第8グループ 二宮ロータリークラブ

会長 大岩 園子



ロータリークラブの歴史を重んじ、クラブの独自性を存分に発揮できる、豊かなクラブを目指そう。

本年度は、世界中がコロナ感染拡大を続け不安と緊張感と戦う、大変厳しい幕開けとなりました。初めての状況下を、クラブとしてどう乗りきり何を目指していくのかの選択を展開するにあたり、今後を見つめ直し、目標・方針の道を造るよいチャンスでもありました。

RI会長、シェカール・メータ氏の「Each One ,Bring One」の重要さが、会員数の少ない我がクラブに改革、増員の大切さを身をもって取り組む一歩になった、と言っても過言ではありません。

コロナ禍の期間、例回数は減少しましたが、男女平等、掛け替えのない仲間を増やすことで、スキルの向上に眼を向け二人の入会が決まりました。

また、ZOOM会議の導入等、小さなことでも挑戦していく士気も高まりました。

シンプルななか、平等に会員一人一人が発言力を持ち、我がクラブならではの個性、独自性の発揮をし、改革の中にも品格のあるクラブを目指して参ります。



クラブ紹介

第8グループ 平塚西ロータリークラブ

会長 小泉 守



アジアの貧しい子どもたちを支援するため、1975年に創設された「CCWA国際精神里親運動部」に当クラブは1978年より43年間、支援を続けています。(現在「特定非営利活動法人チャイルド・ファンド・ジャパン」と名称を変更)支援の内容は、フィリピンの子供達のスポンサーとなり、12歳まで主に学費の援助をします。報告書には「児童は編んだ竹とトタン板で出来た家で暮らし、飲み水は湧き水。灯りは地域の電力に頼る。調理は薪を使用。児童の家での仕事は毎日の薪拾い」とあり、現在も2013年の台風被害や貧困が子供たちの生活を過酷なものにしているようです。そんな子供達からは定期的に手紙や成績表が届きます。手紙には勉強が楽しい、スポンサーになってもらいありがとうございますと感謝の言葉がいつもあります。これからも継続して支援していきたいと思います。

CHILD FUND		INDIVIDUAL PROGRESS REPORT		Date of Report: 27.02.18	
Child's Name: Mariya		Child's Age: 12		Date of Birth: 27.02.18	
Child's Name: Mariya	Child's Age: 12	Date of Birth: 27.02.18	Sex: Female		
Child's Address: 1-1-1, Hiratsuka City, Shizuoka Prefecture	Child's School: Hiratsuka City Elementary School	Child's Grade: 6th Grade	Child's Teacher: Ms. Tanaka		
Child's Family: Father: Mr. Tanaka, Mother: Mrs. Tanaka	Child's Income: 1,000,000 Yen	Child's Expenses: 500,000 Yen	Child's Savings: 200,000 Yen		
Child's Health: Good	Child's Education: Good	Child's Character: Good	Child's Interests: Reading, Drawing		
Child's Future: Good	Child's Hopes: To become a teacher	Child's Dreams: To help poor children	Child's Goals: To study hard		
Child's Photo:	Child's Drawing:	Child's Letter:	Child's Report:		



第8グループ 平塚湘南ロータリークラブ

会長 近藤 勝茂



今年度はクラブ協議会を2回開催してからすぐに緊急事態宣言となり、長期の休会となってしまいました。その後数々の計画を立てましたが、ことごとく中止を余儀なくされました。リモート会議等も考えられましたが平塚湘南はやはり顔を合わせて例会を行いたいとの事で休会を致しました。そんな中でも会員が会員の事を気にかけて、少しでも会うことが出来たならば近況報告等を行ってまいりました。

そのような状況なので事業計画は立てられない為、親睦を中心に行っていく方向に舵を取ってまいります。緊急事態宣言が明けて感染者数が落ち着いてきている現在、夜間例会の充実と会員による卓話を中心に活動を行ってまいります。

平塚湘南はベテラン会員の方々も新会員も分け隔てなく皆、気持ちの良い会員が多く団結力の強いとても楽しいクラブです。



クラブ紹介

第9グループ 小田原ロータリークラブ

会長 大和田 俊彦



当クラブのメンバーはベテランから中堅、若手と、幅広いメンバーで構成されています。最近の会員数は60数名であり、毎年様々な委員会での活動と交流ができることもとても良いです。

主たる奉仕活動としては、地域の小学校または幼稚園、保育園への図書や寄贈、子ども食堂への支援です。将来を担う子ども達のための継続的支援に意義を感じています。

また当クラブは、以前より例会出席率が高いと思われま。学び、親睦を図る場所として、例会の重要性をメンバーそれぞれが感じていると思います。

新型コロナウイルスのため、今年度8月後半からオンラインの準備とガイドライン設定を行いオンライン開催。結果9月まで休会を回避し、毎回約85%の出席率でした。そして10月から通常例会となり、最近11月1日の例会まで出席率はすべて90%以上となりました。

魅力的な例会の準備、集まった仲間が十分楽しめる仕組み作りを、今後も継続できるようにしていきたいと思いま。



第9グループ 湯河原ロータリークラブ

会長 室伏 学



湯河原ロータリークラブは会員25名のアットホームな雰囲気、伝統的に親睦第一をモットーにしています。所在地域は湯河原町、真鶴町と静岡県熱海市泉地区で、限られた人口の地域ではありますが、人口1万人あたりに換算すると7.69人で、適正人数の目安6.81人をクリアしています。また、女性会員は4名で16%なので、こちらも目標値をクリアしています。30代から80代までの幅広い年齢層の和やかなクラブとして、活気あるクラブ運営に努めています。

社会奉仕活動としては、50周年記念事業として寄贈した「湯河原駅入口」交差点の記念モニュメント「四季彩の塔」付近の草刈り等の整備に取り組んでいます。

1962年4月20日に創立した当クラブは今年度、創立60周年を迎えており、2022年3月25日に記念式典を計画しています。これからも70周年、80周年に向けて、様々な事業に取り組んで参ります。



第9グループ 箱根ロータリークラブ

会長 上野 裕



箱根は歴史と文化の町

10月9日、第2780地区田島ガバナーの元、第9グループ木村ガバナー補佐、7クラブの代表が一室に集まり、ポリオ根絶・コロナ鎮静化祈願祭を、757年に創建され源頼朝も崇敬した箱根神社で、我がクラブメンバー小澤宮司により丁寧かつ厳格な祝詞を奏上していただきました。

箱根は時代の困難を幾度となく耐え乗り越えてきた町でもあります。そして観光の町です。

四季折々の自然、種類豊富な温泉、国際的レベルの美術館も数多く、貴重な美術・芸術の歴史、文化にも触れあえる国際観光地。

観光の歴史は富士屋ホテルの歴史でもあります。

我がクラブの例会場は富士屋ホテル。1878年開業、いにしへの趣や意匠そのままにリニューアルされた例会場からは、箱根の山々が見え、コロナ禍でも心身共にリフレッシュしながらマスク例会を励行しています。

奉仕活動として、3月に卒業年度中学生を対象にしたテーブルマナー教室、5月にはゴミゼロキャンペーンを開催予定。

箱根ロータリークラブは60周年を迎えます。活動の節目として「想 守破離 翔」第2780地区・第9グループの皆様、地域の皆様に、そしてクラブを導いてきた先輩方、心から感謝申し上げ、皆さんと祝杯をあげることを、心待ちにしています。

皆様、憩いをいざなう箱根へ「ようこそ」。メーキャップお待ちしております。



第9グループ 小田原北ロータリークラブ 会長 古谷 賢一郎

小田原北ロータリークラブは今年度創立56周年を迎えました。

令和3年11月1日現在の会員数は31名(男性:27名、女性:4名)です。

奉仕事業としては、新世代育成事業として私立立花学園(松田町)との継続的な交流、支援活動を行っています。また、社会奉仕事業として、放課後学童クラブへ楽器や紙芝居を持ち込んで、その活動の支援等を行っています。

今年度はクラブテーマを「実践から知ろうROTARYの心」「SERVICE WITH ACTION」と掲げ、特にクラブ内の活動について個々の会員が理解を深め、それを会員相互につなぎ、それをもってROTARYの心を理解しようという取り組みを行っています。

具体的には、クラブ内の委員会業務の引継ぎのルール化、委員長会議の定例開催、卓話プログラムの充実といったものです。

クラブ活動の体験(実践)から確かなロータリーの心を学び、また、これを後継につないでいくことは、個々の会員のクラブ活動を充実させ、そして会員同士の結束(親睦)を深めることにつながるものと考えます。

経験をしたことのない感染症の拡大が社会の変革を否応なく促す中、当クラブではいち早くオンライン例会の体制を整備し、会員相互のつながりが希薄にならないように努めてきたところです。今後も活動に制限がある時期もあるかもしれませんが、アイデアを出し合い、有意義な奉仕事業、充実したクラブ活動が行えるよう努めていきたいと考えています。



クラブ紹介

第9グループ 小田原城北ロータリークラブ 会長 柳井 渉



小田原城北ロータリークラブは昨年度45周年記念式典を行う予定でしたが、新型コロナウイルス蔓延により緊急事態宣言が発令され、やむなく中止となりました。また、例会もほとんどが休会となり会員間の交流も行われませんでした。

今年度は「温故創新」をテーマに掲げ、新しい価値観の中でのロータリークラブの在り方を模索しています。その1つとして、昨今コロナの影響がなくても例会数の緩和が行われていますが、今年度は会員間の交流の機会を増やすように毎週開催をしています。又、年度初めには、この先コロナの影響で世の中の動きがどのようになるか見えないので、前期は納涼例会、クリスマス例会等の夜間例会などの、例年行われている親睦の機会を企画していませんでしたが、ここ最近の状況から後期は予定通り夜間例会も開催できると思っています。事業も4月の創立記念日に向けて委員長並びに部会長会議を開催し、会員全員が参加できる事業を予定しています。



第9グループ 小田原中ロータリークラブ 会長 小林 英樹



小田原中ロータリークラブは、現会員小林泉さんたちが小田原ロータリークラブをスポンサーとして1980年4月17日に創立総会を開催し、1980年5月20日に国際ロータリーの加盟承認が下り、第9グループの6番目のクラブとして誕生しました。今年度が42年目となり会員数は49名(内女性会員5名)で、30代から80代の幅広い年齢層のクラブとして「小田原中ロータリークラブは中ロータリーらしく風通しのよいクラブ」を基本に運営しています。

奉仕活動については、職業奉仕として地元に奉仕している方を表彰する「優良職業人表彰」を独自に行い、社会奉仕として小田原市障害児通園施設「つくしんぼ教室」の運動会開催を補助し、また、国際奉仕は小田原市が主催するオーストラリアの中高生と小田原市の中高生との相互交流事業「ときめき国際学校」に協力しています。

本年9月30日にテストケースとしてリモート例会を開催し、新しいロータリー活動への対応も模索しています。今後も奉仕活動に貢献しクラブ活性化を進めていきたいと思ひます。



第9グループ 足柄ロータリークラブ

会長 遠藤 秀樹



足柄ロータリークラブは第9グループの中では1番若いクラブです。近隣他クラブとの比較では歴史・伝統では敵いませんが、少人数クラブの特性を存分に活かし、決断・行動に於いてのスピードが自慢のクラブです。

特に2007年4月から継続事業として展開している「青少年育成プログラム:水源の森を訪ねて」では、青少年に水の大切さを自らの体験を通して知ってもらうため、地域の中学生に参加してもらいブナの木を植林し、水源の確保と自然保護に取り組んでおります。更に当事業は2017-2018年度に地区補助金を受領し、土壌改良と植林の拡充を図りました。地元教育委員会からも、生徒たちにとっての素晴らしい体験と期待を寄せられています。

今後もメンバーが知恵を出し合い、活動実績にこだわり、楽しいクラブであり続けたいと思います。



みんなでヒューストン国際大会へ行こう!

オンツー・ヒューストン国際大会委員会 委員長 佐藤 祐一郎 (津久井中央RC)

開会式

2022年6月5日(日) 仲間と集う地区ナイト開催
(予定)

今すぐ登録

早期登録割引実施中

2021年12月15日まで

<ご登録方法>

RIホームページまたは、クラブ事務局よりご登録ください。



★ヒューストン国際大会のご案内★

旅行日程 6月4日(土)～6月9日(木) 4泊6日

旅行代金 お1人様 298,000円～ 参考料金

ユナイテッド航空 直行便 エコノミークラス
スプリングヒル スイートヒューストンタウン 2名1室利用 食事無
空港～ホテル間の移動は各自
燃油代…23,200円 空港税…11,140円別途

※当プランは当広告からのお申込みは承っておりません。
※旅行代金は10月13日現在の宿泊・航空運賃・為替レートを基準とし算出しております。
※出発日・旅行日数・航空会社・ホテルにより異なります。

計画の詳細が決まりましたら改めてご案内させていただきます。

DISCOVER
NEW
HORIZONS

Houston, Texas, USA
4-8 June 2022

Rotary HOUSTON 2022

問合せ 近畿日本ツーリスト(株) 横浜支店
〒221-0052
横浜市神奈川区栄町3-4バシフィックマークス横浜イースト4F
TEL:045-277-0771 FAX:045-277-0682

世界ポリオ根絶サミット 街頭募金奉仕活動の報告



国際ロータリー第2780地区は10月24日(日)朝10時から14時に、辻堂駅北口周辺で、ポリオ(急性灰白髄炎)への認識向上及びポリオ根絶に向けてその資金を集めるための募金、「世界ポリオ根絶サミット 街頭募金奉仕活動」を行いました。

今回の奉仕活動には本地区のロータリアン、ローターアクト、青少年奉仕委員会、米山奨学生と学友が参加して、班分けで募金活動をしました。

2020年から、世界的に流行している新型コロナウイルス感染症を考慮していたこともあり、今回のエンドポリオ活動は本地区の米山奨学生と学友にとって、5月に行った同窓会以来、初めての正式の活動でした。この活動を通して奉仕活動をする機会ができただけでなく、継続や新奨学生との交流の場もできて良かったと思います。

だんだんと新型コロナウイルスの収束も近づき、活動の場も広がりつつあります。これからパンデミック前のような活動が出来ることを心より願っております。

2021-22年度 米山学友会会長 ルイ,ツリン

私は去年ロータリー米山奨学生を卒業し、現在学友として活動している韓国出身のバク カヨンと申します。今回地区からお声がけをいただき「世界ポリオ根絶サミット 街頭募金奉仕活動」に参加させて頂きました。

恥ずかしいことに、今回の活動に参加する前までは私はポリオウイルスがどのようなウイルスかも知りませんでした。当然のように私の国では全ての子どもがこのワクチンを接種済みだったため、この病気にかかったという人を見たことがなかったからです。

しかし、活動を通し、まだ世界中ではポリオウイルスで命を落としてる子どもが沢山いるということを知りました。街で声をかけることで私のようにポリオ自体を知らない人たちにもこの事を届けられればと思いました。

ロータリーを通して奉仕活動ができ、また自分自身もポリオウイルスに関して知れる良い機会になったと思います。

今後もこのような機会が有れば参加していきたいと思いました。

米山学友生 朴 嘉暎(バク カヨン)

地区米山委員会より



10月24日(日)辻堂駅北口周辺におきまして「世界ポリオ根絶サミット 街頭募金奉仕活動」が行なわれました。当日は天候に恵まれ、コロナウイルス感染症も新規感染者数が減少していることもあり、辻堂駅前是人通りも回復し、目的であるエンドポリオ募金活動も盛大に開催することができました。

米山奨学生、米山学友生、米山関連4委員会他多くのメンバーが集まり、午前10時～午後2時まで駅前において開催され、募金額合計も11万円を超える金額が集まりました。さらに久しぶりに米山奨学生、学友生とリアルで会うことができたことは最大の喜びであり、成果に繋がったと思います。

11月は米山梅吉記念館への日帰り研修など今まで行えなかった企画がようやく開催される予定です。

今後とも米山奨学生・学友の活動にご支援ご協力をお願い申し上げます。

米山奨学委員会 副委員長 齋藤 秀人(横須賀RC)

米山学友委員会 副委員長 小山美智恵(横須賀RC)

10月24日の「世界ポリオデー」に、米山奨学生・学友会の皆様と共に参加して参りました。

辻堂駅にてポリオ撲滅の募金活動が、我々の担当です。朝から電車の遅延があり心配しましたが、トラブルも無く1日を過ごして参りました。中でも、米山月間の卓話に、随行致しました米山奨学生のキム・ユミさんが来てくれた事は、「久々の奉仕活動なので、楽しいから是非参加して」とお願いしておりましたので、ホッとしましたし大変嬉しかったです。

コロナ禍により、主だった活動が出来ずに来ておりましたが、流石、ロータリアンでした。募金が始めますとローターアクトさん、財団学友さん、我々米山のメンバー、そして委員の皆様が一丸となって、沢山の募金を頂き、配布物も足りなくなる位の勢いでポリオ撲滅の啓蒙活動が出来ました。リアルな活動の楽しさ、笑顔があちらこちらに見え、笑いと会話が沢山あった、正に「楽しくなければロータリーじゃない」を実践できた時間でした。

米山学友委員会 委員長 早川 正彦(相模原中RC)

茅ヶ崎RC戦略計画について

クラブ戦略計画事例紹介インタビュー
「茅ヶ崎ロータリークラブ」

茅ヶ崎ロータリークラブ スローガン

理想の未来へ
学び・楽しみ・奉仕する！ 我らが茅ヶ崎ロータリー！

左から、茅ヶ崎RC 18-19年度 杉田委員長、岩澤会長 / 阿部副委員長

インタビュー

茅ヶ崎ロータリークラブ 18-19年度 会長 岩澤 あゆみ
茅ヶ崎ロータリークラブ 18-19年度 クラブ戦略計画委員会 委員長 杉田 祐一

インタビューア

地区戦略計画委員会 副委員長 阿部 剣朗

阿部副委員長今回は、クラブ戦略計画事例紹介として、茅ヶ崎ロータリークラブさんにお話しを伺います。岩澤さんは、地区戦略計画委員会の委員でもありますが、クラブでの取り組みとして本日はお話しを聞かせて頂きます。2018-19年度に岩澤さんがクラブの会長になられ、その年にクラブ戦略のための委員会を設置されたとのことですが、その経緯や目的をお聞かせ下さい。

岩澤茅ヶ崎ロータリークラブは、昨年度が60周年という歴史があるクラブです。私が会長になる頃には、会員の3分の2が入会から6年未満の会員という世代間も、そして在籍年数も開きが大きなクラブでした。歴史と伝統があるクラブですので、大ベテランの先輩たちがお元気なうちに、色々なことを教わり、会員と共に未来を描くということが大切な年、今しか出来ない年かもしれないと考えていました。また2年後に60周年を迎えるというタイミングでしたので、周年に向けても今一度このクラブの受け継ぐべきこと、素晴らしさ、課題、目指すところ、これらを考える必要があると思っていました。

阿部副委員長なるほど。岩澤さん自身も入会して5、6年という時に、そのように考えられたというのは、きっかけや何か想いはあったのですか？

岩澤私の祖父は48年ほどこのクラブの会員でお世話になり、ロータリーを愛し、誇りに思い、生涯を通じてロータリーを学び続ける背中を見せてくれていたので、在籍は浅いけれど、私なりにこのクラブを大切に思い、末永くこれまでもこれからも誇らしいクラブであってほしいという気持ちがあったのは大きいです。一方で、会員の入れ替わりも多く、このクラブの素晴らしさをみんなで理解し、守り、さらに発展させていく必要性も痛感していました。そして杉田君がクラブにいたのも大きい。私の想いを理解して具現化して進める推進力があるというのは大きかったです。

阿部副委員長杉田さんも岩澤さんと同じ年だそうですね？クラブの中で一番若い二人が、未来を一緒に描こうよ！と音頭を取るということが素晴らしいですね。実際にどのようなことをしていましたか？

杉田まずは、他のクラブがどのようなビジョンや戦略計画を持っているかについて事例を調べました。戦略計画立案ガイドを何度も読み込み、茅ヶ崎RC版立案ガイドを作り、基本的にはそれに沿って進めました。年間で数回の卓話をこの委員会が担い、会員の皆様の声を拾っていきました。クラブの好きなどころ、課題であろうことを全員からアンケートを収集。そこであげられた声をまた例会の中で共有し、自分たちのクラブの今というのを意識してもらいました。次に、どのようなクラブになっていきたいかという理想像を語り合いました。この岩澤年度では、かつてクラブ

茅ヶ崎RC戦略計画について

で行っていた炉辺会合や、例会前の親睦コーナーなどを復活させることで、先輩たちにもそのような機会に昔の資料をたくさん持ってきて頂いて、新しい会員たちがそれを目にするなど、様々な角度から未来ビジョンを考えるための取り組みをしていたと思います。

阿部副委員長 それこそお二人が戦略的に準備をしっかりと進めたのですね。クラブによって色々なやり方があると思いますが、実際に立案ガイドに従いながらやってみていかがでしたか？

岩澤 立案ガイドはとても良く出来ています！やり方がわからなくて、前に進めないというクラブには本当にお勧めです。しかしながら、進めていく中で、やはり戦略計画というと、すぐ抵抗感がある人がいるのも痛感しましたし、クラブの課題を考えていくというのも、在籍浅い会員には難しかったり、互いの考えをすりあわせ理解し合いながら、共通の旗印を作っていくプロセスは大変だなと思いました。でもそれ以上に、やはりこういうことをクラブ全員で考える時間はとても大切だなと思いました。

杉田 全員で考えていくということがとても重要です。いくつかのステップがありますが、その最初をいかに丁寧にするかを意識しながら進めました。理想のクラブを描き出した段階で、これは1年でどうにか出来る話ではなく、まずはこの年度の目標を、クラブスローガンを作るところに定め、そして次年度以降、ビジョン策定や行動目標策定につなげていけるように地道に行う必要があるなというのわかりました。理想のクラブの未来を描いた中で、キーワードを絞り込み、ビジョンを全員に提出して頂きました。委員会や誰かが作ったものではなく、作るプロセスに全員が絡むことが大切で、提出頂いたスローガンを投票しながら、合体させたり、委員会で再度揉み込んだりしながら完成させました。

阿部副委員長 なるほど、やはり進めていくのは決して簡単ではないですよ。その中で、常に軌道修正をお二人が検討しながら、一つひとつ丁寧にステップを踏んでいったというのはとても大切だとお話を聞いていました。最終的にスローガンが決まり、その後、どうでしょうか。

岩澤 スローガンは、クラブ計画書やプログラムに必ず今でも書かれています。その後2年間、この委員会は設置されましたが、新型コロナウイルスで少しストップがかかったのが実態です。ここからまた、みんなでクラブの夢を語り合いたいですね。夢を語れるクラブって良いですよ。ワクワクし、それを会員同士が楽しみ、互いの理解が進むことで親睦にもつながり、歯車が回ることで、さらに活性化され仲間も増える。65周年、70周年に向けて、クラブビジョン、行動目標が作られていけたらと思います。まだスローガンしか出来ていないですが、あの1年でクラブの好きのところ、課題を抽出出来たことはその後の活動にも少なからずプラスの影響があったと思います。ですので、難しく考えず、戦略計画?!なんて思わず、クラブの今をみんなで現状把握することから始めたら良いと思います。スローガンは「えいえいおー！」みたいな物ですし、目的はその策定でもビジョンの策定でもなく、そこからどのような行動をするかですよ。

阿部副委員長 本当にそうですね。ロータリーは単年度だからとか、戦略計画?と抵抗感を感じてしまう人も居ると思いますが、クラブの未来を作るのは今いる会員さんですし、これからの夢、このあとのような方向に船を進めようかという進路をクラブみんなで考えることがビジョンや行動目標を作るということなのだろうと思います。貴重なお話しありがとうございました。



Dawn of Nobility — How was Rotary established? —

ロータリーの創生 Vol.5

文・絵 寺田 圭次 (ふじさわ湘南 RC)

監修 田島 透 (ふじさわ湘南 RC)

<互恵中心主義の翳り>

シカゴクラブでは相互扶助に基づく互恵取引が益々盛んになっていく。

会員同士は商品や原材料等を原価で取引し、会員以外との一般取引は通常価格で行った。このため会員は大きな利潤を生み出し事業に多大な経済効果を得る事となった。

この時期、零細な起業主もロータリークラブへ入れば事業を拡大し大成功するとまで言われた。

このように物質的互恵を極めていったシカゴクラブだったが、シカゴの街では、その利己的な自己中心体質に対し、一般市民から、またクラブ内部からも非難の声が高まっていった。



<奉仕の芽生え>

自分の事業に有益になる事から、シカゴクラブに入会を希望する経営者は多かったが、一業種一人の規則のため、入会は中々困難だった。



Donald Carter

1906年4月、クラブ会員のフレッド・トゥイード (Fredrick Tweed) は特許弁理士のドナルド・カーター (Donald Carter) を入会候補者として推薦した。トゥイードはカーターに物質的互恵取引により得られる特典や利益について説明し、クラブへの入会を勧めた。当初はカーターも興味を示し乗り気であったが、カーターが出した結論は入会拒否であった。簡単には入会出来ず、誰もが会員になりたがったクラブに衝撃が走った。入会拒否の理由は「会員だけの利益を追求し社会に対し何も貢献しないクラブなど世間の理解は得られず、将来性は無い」というものだった。

この事態を受け、ハリスがとった行動は賢明であった。自身も「親睦」と「相互扶助」というクラブの在り方に限界を感じていたハリスは、このカーターの入会拒否をクラブ変革のチャンスと捉え、方向性の転換を決意する。直様定款に「事業利益の増大」と「会員同士の親睦」に「シカゴ市の利益を最大限に推進し、シカゴ市民として誇りと忠誠心を市民の間に広める」という項目を加えた。この定款変更によりカーターは納得し、入会を承諾した。

会員同士の物質的相互扶助は依然として継続されたが、カーターの一件以降、お互いの事業発展のため会員同士が知恵を出し合う精神的相互扶助も次第に浸透していく。会員間で交わされる会合や卓話での実践的な情報は、親睦と友情に基づくものであるからその精度は高く、この精神的相互扶助がむしろ会員の事業収益を伸ばす結果となった。



会員同士の物質的相互扶助は依然として継続されたが、カーターの一件以降、お互いの事業発展のため会員同士が知恵を出し合う精神的相互扶助も次第に浸透していく。会員間で交わされる会合や卓話での実践的な情報は、親睦と友情に基づくものであるからその精度は高く、この精神的相互扶助がむしろ会員の事業収益を伸ばす結果となった。



<奉仕の一步>

1907年、シカゴクラブ第3代会長にハリスが就任した。ハリスが所信として掲げたのは、会員増強と他都市でのクラブ設立、そして地域社会への奉仕活動だった。

ハリスが最初の奉仕活動としたのは、公衆トイレの設置だった。当時のシカゴ中心部には公衆トイレが無く、市民はトイレを借りるためにショップで買い物をしたり、バーで一杯やらなければならず、百貨店や酒類提供店はこれにより利益を得ていた。シカゴ醸造組合や百貨店組合から激しい妨害を受けたが、ハリスはシカゴクラブを中心として公衆トイレの建設委員会を組織してシカゴ市に働きかけ、20,000ドルの補助金を引き出し、1909年に2つの公衆トイレを完成させるに至った。



特筆すべき点は、この公衆トイレの設置は不便を強いられていた市民のためにクラブが市民と組織を作り、市当局と交渉して実現したものであって、決してただ資金を拠出しただけの奉仕活動ではなかったということである。

GROW MORE MEMBERSHIP!

～新会員's VOICE 4～

地区会員増強維持拡大委員会 副委員長 堂前 慶之 (伊勢原 RC)

毎号、順番に各グループから数名の新会員の方をご紹介します、生の声を皆様にお届けしております。第4回目は第7グループの伊勢原ロータリークラブより2名、伊勢原平成ロータリークラブより1名の新会員をご紹介します。伊勢原ロータリークラブでは田中徹会長の下、いち早くハイブリッド例会を導入し、コロナ対策を講じながらコミュニケーションを絶やさぬよう例会を運営してきました。そんな中、新年度早々に2名の新会員を迎えることができ、更なるクラブ活性化が期待されます。伊勢原平成ロータリークラブでは野崎岳彦会長が「40周年記念式典を30名の会員で迎えられる礎を作りたい」と会員増強をテーマの一つに掲げる中、創立以来2人目となる待望の女性会員(現在0名)が入会されました。

新メンバーから見たロータリークラブのイメージや入会に至る経緯、ロータリーに期待することや今後の抱負を語っていただきました。新たな増強維持のヒントが隠されているかもしれません。是非、下記のサイトやQRコードからアクセスして、動画をご覧ください。 (動画は約27分ほどです)

インタビューア 堂前 慶之(地区会員増強維持拡大副委員長・伊勢原RC) 新会員 柏木 貞俊(伊勢原RC)
 椎野 祐介(地区会員増強維持拡大委員・秦野中RC) 小泉 幸彦(伊勢原RC)
 市川 千里(伊勢原平成RC)


<https://youtu.be/ub66FBIfhf8>

限定公開設定をしております。
 アドレスまたはQRコードを知っている方のみが視聴できる
 設定です。配信期間の定めはありません。



新会員紹介 ①所属 ②入会日 ③職業分類 ④スポンサー



かみやま たつり
神山 辰徳
 ①厚木中
 ②2021.3.10
 ③塗装業
 ④藤川孝幸
 五十嵐直樹



こじま まさや
小島 正也
 ①厚木中
 ②2021.7.7
 ③総合建設
 ④西厚夫



ほりえ かつみ
堀江 克己
 ①厚木中
 ②2021.7.7
 ③不動産売買
 ④西厚夫



にし たいら
西 大良
 ①厚木中
 ②2021.7.14
 ③総合建設
 ④小島正伸



えんどう のりたか
遠藤 典孝
 ①厚木県央
 ②2021.8.6
 ③倉庫業
 ④高畑幸夫
 和田貴樹



つかだ じゅんろう
塚田 順朗
 ①大和
 ②2021.10.19
 ③商業銀行
 ④道岸唯一



やまぐち こういち
山口 弘一
 ①津久井中央
 ②2021.10.21
 ③飲料類販売
 ④高橋幸一



おねだ ひろし
大根田 裕志
 ①大和中
 ②2021.10.28
 ③普通銀行
 ④高橋政勝



たかはし けんご
高橋 研吾
 ①津久井中央
 ②2021.10.28
 ③林業
 ④高橋幸一



くぼ たかひさ
窪 悠久
 ①海老名樺
 ②2021.11.4
 ③建築塗装業
 ④上野秀子

訃報 ご冥福をお祈り致します



さいとう たつお
齊藤 達夫 (厚木中RC)
 2021年10月8日逝去(享年83歳)
 1978年5月30日入会
 チャーターメンバー
 2017-18年度 クラブ会長
 米山功労者 ポールハリスフェロー



いずみ のぶこ
泉 信子 (藤沢RC)
 2021年10月13日逝去(享年97歳)
 1997年7月入会
 マルチプル・ボール・ハリス・フェロー
 第3回米山功労者

第2780地区 2021年10月末 会員数

グループ	クラブ名	例会数	出席率(%)	会員数										
				10月末		年初7月1日		本年度入会者		本年度退会者		本年度増減		
				男女合計	女性会員	男女合計	女性会員	男女合計	女性会員	男女合計	女性会員	男女合計	女性会員	
1	横須賀	5	77.35	118	13	121	14	1	0	4	1	-3	-1	
	横須賀北	3	85.96	20	4	20	4	0	0	0	0	0	0	
	三浦	3	72.41	29	1	29	1	2	0	2	0	0	0	
	横須賀西	3	95.06	14	0	14	0	0	0	0	0	0	0	
	横須賀南西	4	84.45	11	0	11	0	0	0	0	0	0	0	
計				83.05	192	18	195	19	3	0	6	1	-3	-1
2	鎌倉	4	64.87	79	13	78	13	1	0	0	0	1	0	
	逗子	4	57.69	43	4	45	4	1	0	3	0	-2	0	
	鎌倉大船	3	64.29	15	0	16	0	0	0	1	0	-1	0	
	葉山	4	58.34	21	4	22	4	2	1	3	1	-1	0	
	鎌倉中央	2	52.94	22	4	22	4	0	0	0	0	0	0	
計				59.63	180	25	183	25	4	1	7	1	-3	0
3	藤沢	4	67.96	42	13	42	13	1	1	1	1	0	0	
	藤沢西	2	85.00	20	1	20	1	0	0	0	0	0	0	
	藤沢東	4	65.45	33	7	32	8	4	0	3	1	1	-1	
	藤沢北西	4	81.25	12	0	11	0	1	0	0	0	1	0	
	藤沢南	4	58.25	38	7	38	7	1	0	1	0	0	0	
	ふじさわ湘南	4	57.35	34	1	34	1	0	0	0	0	0	0	
	かながわ湘南	3	47.62	21	13	21	13	0	0	0	0	0	0	
	アークス湘南	4	100	3	2	3	2	0	0	0	0	0	0	
イノベーションウェイ	1	57.14	28	1	27	1	1	0	0	0	1	0		
計				68.89	231	45	228	46	8	1	5	2	3	-1
4	茅ヶ崎	4	100	40	5	39	5	1	0	0	0	1	0	
	寒川	3	90.48	30	1	30	1	0	0	0	0	0	0	
	綾瀬	3	96.19	35	0	35	0	0	0	0	0	0	0	
	茅ヶ崎湘南	4	68.67	45	1	41	1	5	0	1	0	4	0	
	茅ヶ崎中央	4	75.00	48	2	49	2	1	0	2	0	-1	0	
綾瀬春日	4	70.00	24	1	24	1	0	0	0	0	0	0		
計				83.39	222	10	218	10	7	0	3	0	4	0
5A	相模原	4	64.25	70	6	68	5	2	1	0	0	2	1	
	相模原グリーン	3	70.51	52	5	52	5	0	0	0	0	0	0	
	津久井中央	4	84.35	22	4	20	4	2	0	0	0	2	0	
	相模原橋本	4	49.58	60	9	59	9	2	0	1	0	1	0	
相模原ニューシティ	2	67.86	42	5	42	5	0	0	0	0	0	0		
5B	相模原南	3	92.27	53	9	51	7	2	2	0	0	2	2	
	相模原中	4	92.87	27	3	27	3	0	0	0	0	0	0	
	相模原西	4	56.67	45	5	45	5	0	0	0	0	0	0	
	相模原東	2	65.48	15	4	14	4	1	0	0	0	1	0	
	相模原柴胡	4	76.93	26	2	26	2	0	0	0	0	0	0	
相模原かめりあ	2	80.00	30	30	23	23	7	7	0	0	7	7		
計				66.73	450	86	435	76	16	10	1	0	15	10

グループ	クラブ名	例会数	出席率(%)	会員数										
				10月末		年初7月1日		本年度入会者		本年度退会者		本年度増減		
				男女合計	女性会員	男女合計	女性会員	男女合計	女性会員	男女合計	女性会員	男女合計	女性会員	
6	厚木	4	88.64	41	2	42	2	0	0	1	0	-1	0	
	大和	3	87.77	33	5	33	5	1	0	1	0	0	0	
	座間	3	72.04	30	1	30	1	0	0	0	0	0	0	
	大和中	4	76.33	25	1	25	1	1	0	1	0	0	0	
	厚木中	3	89.65	26	1	24	1	3	0	1	0	2	0	
	大和田園	4	76.59	31	2	31	2	0	0	0	0	0	0	
	海老名	2	60.78	51	4	51	4	1	0	1	0	0	0	
	海老名樺	3	64.76	35	4	35	4	0	0	0	0	0	0	
	厚木県央	4	82.41	39	4	38	4	1	0	0	0	1	0	
	本厚木	2	75.72	35	4	35	4	0	0	0	0	0	0	
計				77.47	346	28	344	28	7	0	5	0	2	0
7	秦野	3	77.96	49	7	49	7	0	0	0	0	0	0	
	伊勢原	4	58.96	53	3	51	3	2	0	0	0	2	0	
	秦野中	5	77.84	39	2	39	2	1	0	1	0	0	0	
	伊勢原中央	3	94.45	12	0	12	0	0	0	0	0	0	0	
	秦野名水	4	96.88	16	7	16	7	0	0	0	0	0	0	
伊勢原平成	3	71.67	20	1	19	0	1	1	0	0	1	1		
計				79.63	189	20	186	19	4	1	1	0	3	1
8	平塚	3	71.04	61	4	59	4	2	0	0	0	2	0	
	大磯	3	82.05	16	2	16	2	0	0	0	0	0	0	
	平塚北	2	48.49	36	6	37	6	0	0	1	0	-1	0	
	二宮	2	93.75	8	2	8	2	0	0	0	0	0	0	
	平塚西	3	65.56	30	1	30	1	0	0	0	0	0	0	
平塚湘南	4	62.50	47	8	46	8	1	0	0	0	1	0		
計				70.57	198	23	196	23	3	0	1	0	2	0
9	小田原	3	92.64	64	5	58	2	6	3	0	0	6	3	
	湯河原	4	86.73	25	4	24	3	1	1	0	0	1	1	
	箱根	3	79.05	35	2	36	2	0	0	1	0	-1	0	
	小田原北	4	82.69	31	4	30	4	1	0	0	0	1	0	
	小田原城北	4	72.82	44	3	45	3	0	0	1	0	-1	0	
小田原中	4	86.18	49	5	49	5	0	0	0	0	0	0		
足柄	4	88.24	18	1	17	1	1	0	0	0	1	0		
計				84.05	266	24	259	20	9	4	2	0	7	4
総計				74.82	2274	279	2244	266	61	17	31	4	30	13

地区内クラブ	地区内会員総数(人)	()内は女性会員
65	2,274 (279)	
本年度入会者数(人)	本年度退会者数(人)	本年度会員増減数(人)
61 (17)	31 (4)	30 (13)

横須賀南西RC 事務局交代のお知らせ

横須賀南西RCの事務局員が12月1日(水)より交代となりました。
 ■新事務局員氏名: 渡辺 望美 ■事務局出勤日時: 月・木 10:30~16:30
 ■クラブメールアドレス: yokosuka.sw.rc@ebiya.info



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2780

2021~2022 Governor

Toru Tajima

■OFFICE

Aizawa Bldg.#1,5F,22-7-501
 Minami-Fujisawa,Fujisawa-city,
 Kanagawa 251-0055 JAPAN
 Tel:+81-466-25-8855 Fax:+81-466-25-8866
 E-mail:g-office@rid2780.gr.jp
 URL :https://rid2780.gr.jp

2021~2022 年度ガバナー

田島 透

■事務所

〒251-0055
 藤沢市南藤沢 22-7-501 第一相澤ビル 5階
 Tel:0466-25-8855 Fax:0466-25-8866
 E-mail:g-office@rid2780.gr.jp
 URL :https://rid2780.gr.jp

ガバナー月信 2021年12月1日 第6号